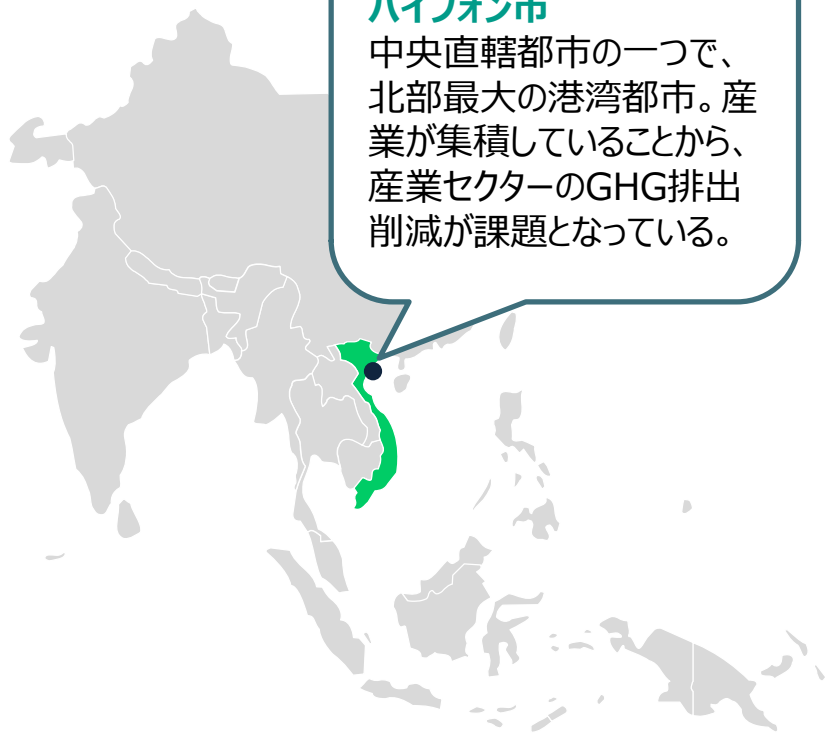


ベトナム・ハイフォン市-北九州市に関する都市間連携

ハイフォン市と北九州市は、2009年に「友好協力協定」を締結後、主に上下水道分野の技術交流や文化・経済交流を行ってきた。さらに、2014年には「姉妹都市協定」を締結し、廃棄物部分野、低炭素技術分野等も含め包括的な連携に発展してきた。特に、2014年には「ハイフォン市グリーン成長推進計画」を共同で作成し、そこで特定された15のパイロットプロジェクトの具体化に取り組んできている。

ハイフォン市

中央直轄都市の一つで、北部最大の港湾都市。産業が集積していることから、産業セクターのGHG排出削減が課題となっている。



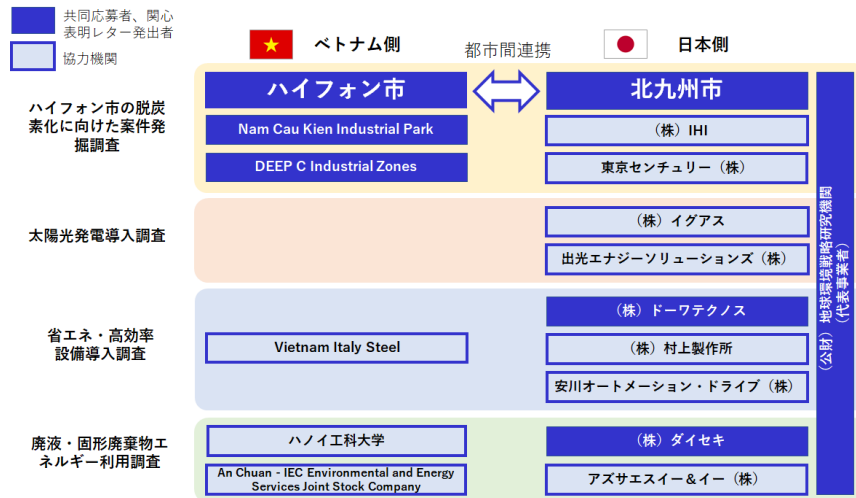
北九州市

日本最大のエコタウンを有する産業都市。SDGs未来都市に指定されるなど、SDGsに積極的。2020年にはゼロカーボンシティを表明。



ベトナム・ハイフォン市-北九州市に関する都市間連携

【体制図】



【写真】



JCM設備補助事業への申請を予定している大型送風機と現地調査の様子

【事業活動・成果】

活動

- 現地調査の実施
 - 太陽光発電導入調査 (10月)
 - 廃液・固形廃棄物エネルギー利用調査 (8月、11月)
 - 省エネ・高効率設備導入調査 (11月)
- 現地とのワークショップの開催 (12月)

成果及び今後の展開

- カットバ島周辺の水上生活者の現状、ニーズを把握できた。今後は、ランハ湾における水上生活居住区に、再生太陽光発電モジュールと再生バッテリーを組み合わせた小規模発電ユニットを試験的に導入し、テストする。
- 廃棄物固形燃料、液体燃料ともにセメント工場で石炭代替燃料としてのニーズが高いことが分かった。
- 大型送風機+インバーターの設備更新案件について、JCM設備補助事業への申請要件を把握できた。今後は、JCM設備補助事業の令和5年度公募に向けて申請準備を行う。